

友 和

NO.543

発行日 令和4年10月1日

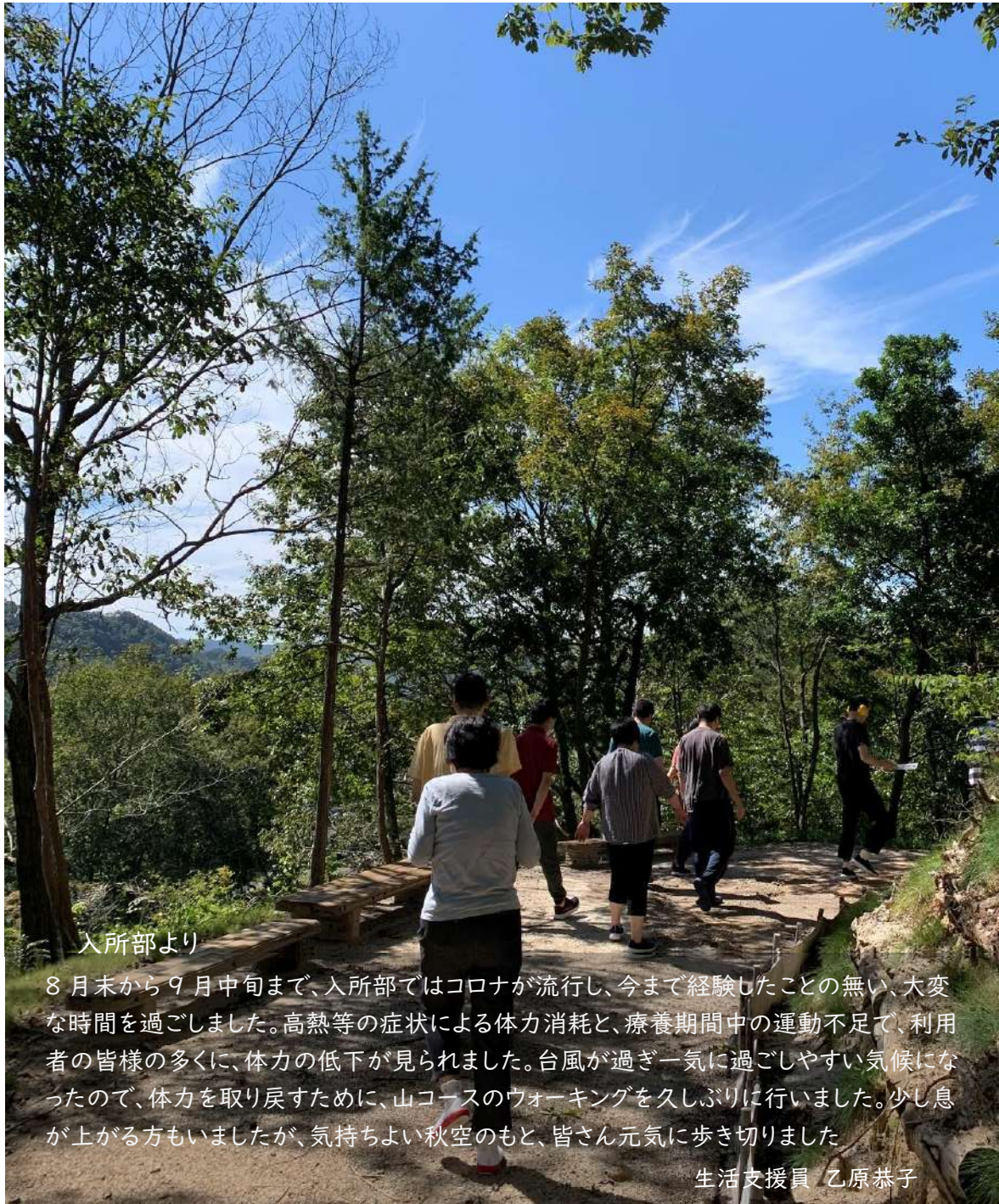
発行 社会福祉法人 友和の里
〒738-0203

広島県廿日市市友田 218-38

TEL0829-74-2157 FAX0829-74-2154

HP : <http://yuuwanosato.com/>

発行者 施設長 川本 靖



入所部より

8月末から9月中旬まで、入所部ではコロナが流行し、今まで経験したことのない、大変な時間を過ごしました。高熱等の症状による体力消耗と、療養期間中の運動不足で、利用者の皆様の多くに、体力の低下が見られました。台風が過ぎ一気に過ごしやすい気候になったので、体力を取り戻すために、山コースのウォーキングを久しぶりに行いました。少し息が上がる方もいましたが、気持ちよい秋空のもと、皆さん元気に歩き切りました。

生活支援員 乙原 恭子

友和の里入所部新型コロナウイルス感染を経験して

8月下旬から9月上旬にかけ友和の里入所部で、新型コロナウイルスの集団感染が発生しました。8/19 入所部女性利用者 1 名の感染を確認。以後毎日 1 人から 5 人の感染者が発生し、9/2の最後の感染者まで計 28 名の感染者が発生しました。最初の発生者が出た翌日に、利用者・職員の PCR 検査をしたところ、全員陰性という結果となり、何とか封じ込めるのではと思いましたが、残念でありました。当時広島県では、過去最高の感染者数を毎日更新していた時期で、県内の障害者施設でも 40 施設が集団感染しており、改めてオミクロン株変異株（BA4・BA5）の感染力の強さを実感しました。

幸いなことに、軽症の方ばかりで、新薬（ラゲブリオ）を優先的に処方してもらい、2.3 日で症状が改善され、9/9 にはすべての方が療養期間を終了しました。職員についても入所部職員 10 名が感染（労災扱い）しましたが、全員療養期間を終えて、職務に復帰しております。この間、ご利用者・ご家族にはご迷惑、ご心配をかけましたが、皆様にはご理解いただき、励ましのお言葉も頂くなど、大変感謝しております。

また、検査、診断、治療と円滑を行っていただいた友和病院、感染防御のご指導いただいた県保健所の対策チーム、検査キッドや防御服等資材のご提供いただいた廿日市市障害福祉課、使用できなくなった通所棟の代替施設として、通所部利用者を受け入れていただいた友和市民センター及びさいき文化センター等多くの方々のご協力をいただきました。

最前線の現場でこの感染症に対峙した職員については、感染者への直接支援、感染した職員の代替配置による休日出勤や勤務超過、そして自らも感染する（労災扱い）など精神・肉体的疲労は大変なものでした。そして、直接支援以外でも、医療用マスクや防護服等の衛生資材の確保、ご家族への連絡や情報収集、感染療養に配慮した食事提供等、各部署が一丸となって、この非常事態を乗り越えてくれました。しかし、利用者 28 名、職員 10 名の感染者発生という結果については、重く受け止めており、職員の頑張りだけでは防ぐことはできないと痛感しております。今回の経験を通じ、感染者、非感染者、感染が疑われる方、三つの区分が必要であると、課題が出ました。それには、現在の入所棟だけでは区分けが出来ず、新たな居室が必要となります。

入所部棟は平成 9 年開設し、当時の設備基準を基本としており、居室は 2～3名の相部屋です。現在の居室基準（9.9 m²以上）後は、個室が主流となっております。このため、中長期計画にも入所部棟の改修・増築を挙げておりますが、利用者の生活の質の向上はもとより、感染防止対策としても、現在の最重要課題として取り組まねばと思っております。

今回の経験をさらなる支援の向上に活かし、ご利用者・ご家族のご期待にお応えできるよう努力を積み重ねる所存であります。今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

理事長 河野義刀

通所部より

通所 日中活動風景



陶芸班

秋めいてきたかと思えば、まだ暑い日が続きますね。陶芸班でも、暑い暑いとお話しながら日中活動に取り組んでいます。早速、来年度の干支をご注文いただきありがとうございます。発送に向け、準備を進めています。引き続き皆様からのご注文お待ちしております。

生活支援員 冠 茜



療育班

9月5日～9日まで、日中活動をドライブに変更して過ごしました。魅惑の里・寂地峡・らんかん高原などを巡り、目的地に到着するとトイレ休憩や散策をしてリフレッシュしました。普段と違う過ごし方でしたが、みなさんの笑顔や「楽しかった」の声をたくさん聞くことができました。

生活支援員 河村美穂



創作班

ウエスの主な材料は、シーツや枕カバーです。布に切り込みを入れて手でさくので、糸がたくさんほつれます。作業中の会話をご紹介します。①「なんでこんなに糸出るんだ？」②「ぼくわからん」③職員「糸を取ると使う人が助かるんだよー」と話しをしながら糸取り作業をしています。

作業支援員 米中 美恵



貝通し班

貝通し班のみんなは毎日元気に作業しています！作業が好きなのか朝バスの中で「今日も作業あるん？」と聞いてくれます。へへ「あるよ」と答えると「うんうん」とうなずいてくれます。この時期の牡蠣業者は冬に向けての仕込みの時期です。朝早くから海に出て手上げと言われる作業をします。手上げとは深いところから浅いところへ牡蠣をあげて、水深を変えることです。海面まで牡蠣を上げて、牡蠣の成長を促し牡蠣を守ります。台風シーズンなので台風対策も行います。皆様も台風が近づいて来たらしっかり対策をして下さいね。（写真は廿日市市深江沖で牡蠣業者の方が作業している風景）

生活支援員 三宅 将

OPEN DAY

通所 開所日

開所日ワクワク通信



9 月になり、外も少しずつ過ごしやすくなってきました。今回の開所日では、遊歩道の散策を実施しました。心配していた雨も降らず、途中からは太陽も顔を出してくれ、良い天気となり、皆さまものんびりと散策できたかと思います。遊歩道にはどんぐりや松ぼっくりも落ちており、秋の気配を感じ取ることができた開所日となりました。
生活支援員 永見貴一



Best Photo

食欲の秋行楽の秋



通所部のみんなでドライブ。吸い込まれそうな青空は羅漢高原。すずしかったー。

友和の里の花壇にやってきたツマグロヒョウモンの雄。シオンの花の蜜を吸っています。シオンは薬草で、根を利用して咳止めの生薬になるそうです。



グループホームのみなさん、万古溪養魚センターでの集合写真。職員が楽しそうですねえ。



敬老の日のツーショット。海苔をもらったそうです。おめでとう!



グループホームより

グループホームゆうわ

9/22(木) 所山にある万古溪養魚センターの釣り堀へ行って来ました。台風の影響が心配でしたが当日は朝から気持ちの良い晴天、絶好の釣り日和となり、しどろもどろしながら竿を持ちニジマス釣り挑戦しました。魚が釣れると「やったー!」「見て見て!」と感激され大喜びでした。釣った魚は塩焼きと唐揚げに調理して貰い、これまたペロリと美味しく頂きました。久しぶりのお出かけて皆さんもリフレッシュ出来たのでないでしょうか…

生活支援員 正木はるみ



フレンドホームゆうわ

フレンドホームゆうわでは9/12に、ウッドワン美術館へ「みんなの無限大アートやまなみ工房の宇宙」展を観に行きました。館内にはさまざまなアーティストによる、たくさんの作品が展示されていました。当日は貸し切りだったこともあり、感染症対策を十分に行いつつ、ゆっくり作品を鑑賞することが出来ました。久々の外出にご入居者の方にもとても喜んで頂けました。ウッドワン美術館のスタッフの方々、ご招待頂きありがとうございました。

生活支援員 香川剛司



里山にいらっしやい



Before



7月号でもお知らせしましたが、ウッドプロさんや高見製函さんでいただいた廃材や端材をつかって友和の里の環境整備をしています。出来たものが、少しずつ姿をあらわし始めました。台風が来て心配しましたが、被害は特にありませんでした。足場板をつかった小屋にはいろんな窓がありそうです。当面いろんな木工作業ができるような作業場として利用するとか。いつか利用者みなさんの作品展示場所となったり、ペイントなどのお手伝い作業ができる場になるといいですねえ。

地域交流支援員 日向典子



After



<10月の主な行事予定>

3(月)	管理者会議	24(月)	友和の里監事監査
15(土)	開所日		

※変更や追加などはその都度ご連絡させていただきます。

ちょっと ちいきと

新コーナー「ちょっと地域と季節と」では地域の情報をお伝えしていきます。このたびは河津原神楽団をご紹介します。団長の竹内健さんにお話を聞きました。

河津原神楽団は廿日市市河津原にある神楽団です。友和の里まつりのフィナーレをいつも飾ってくれている神楽団のひとつになります。

現在団員は16人、10歳から70歳代の男女で構成されており、女性が一人、子どもは一人ということでした。子どもたちに人気のある神楽だと思っていたので、子どもさんが一人だけだと聞いて驚きました。練習は毎週あり、練習日以外にも自主練を個々にしながら、舞や楽器の演奏を覚えていくとのことでした。なかなか覚えられずに、涙が出ることもあるそうです。

廿日市市佐伯エリアには津田、栗栖、浅原、玖島、河津原神楽団の合計5つの神楽団があります。同じ佐伯地域にあってもそれぞれの神楽団に歴史や特徴があり「調子」が異なるということで、さて調子がちがうとどうなるのでしょうか。



河津原神楽団は江戸時代の終わり頃の記述に舞を奉納していたことが残っており、歴史のある神楽団。戦後、観客ウケのいい新舞も取り入れるために安芸高田に勉強にいき、今の河津原神楽団の演舞構成になっているそうです。なかでも「十二神祇舞（じゅうにじんぎまい）」は古くから演じられており団長の竹内さんも思い入れがあり継承をしていくべき舞だと考えているということでした。

竹内さん自身は小学4年から神楽を始められたそう。最初は勸善懲

悪のヒーローをみるような感覚で神楽を見るのが好きだった。友達に誘われて練習を見に行ったら、「今日から入った竹内くん」と皆に紹介されて入団することになってしまった。今では身体の半分、神楽になっている。この頃、多世代で何かを本気で一緒にすることがなかなかない。人前で何かをやって、拍手をもらえて、地域の人に声をかけてもらえるのがうれしい。と話をしてくれました。竹内さんは廿日市市河津原に在住で3人のお子さんのお父さん。平日はサラリーマンとして市内に働きに出かけられ、休日は子供さんの行事や神楽に当てておられるそうです。



河津原神楽団女性団員長門さんの作画

河津原神楽団団長

竹内健さん



ちなみにテレビでカープを見ながら晩酌をすることはほとんどないそうで、とっても凛々しいお父さんだなあと思いました。

河津原神楽団は毎年、10月の第三日曜日にその年の五穀豊穡に感謝して行われる河津原八幡神社の秋祭りの前夜祭で神楽の奉納をしているとのこと。秋の夜パチパチとはじける焚火にあたりながら雰囲気のある神社で見る神楽舞。今年も楽しみです。伝統ある河津原神楽団、**神楽団員大募集中**です！ 地域交流支援員 日向典子

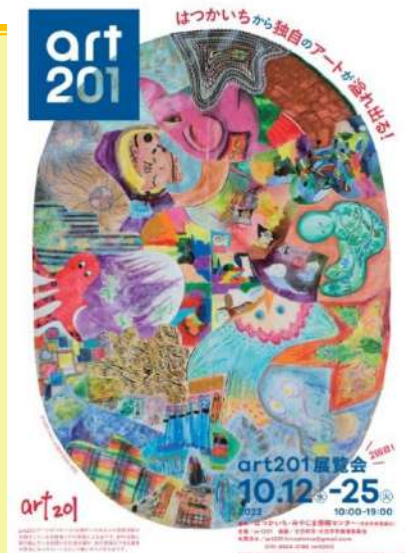
訂正：9月1日号の小西果樹園さんの記事で梨の種類を「凛花」と記載していましたが正しくは「凛夏」の間違いでした。

art201 展覧会(アートはつかいち)のお知らせ

10/12(水)ー10/25(火)

10:00~19:00

はつかいちみやじま情報センター(廿日市市宮島口フェリーターミナル2F)にて作品展示があります。廿日市市を拠点に表現活動をしている障害のあるアーティストの作品展です。



行事食(9月はお月見)



10月の献立表

1	土	
2	日	
3	月	ごはん・スープ・ポークピカタ・サラダ・果物
4	火	ごはん・スープ・鮭の風味焼き・酢の物・果物
5	水	肉うどん・ごはん・和え物・牛乳
6	木	ごはん・味噌汁・鯖南蛮・和え物・ヨーグルト
7	金	ごはん・スープ・鶏のパン粉焼き・サラダ・ゼリー
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	ごはん・汁物・西京焼き・炒め物・果物
12	水	マーボー丼・スープ・酢の物・牛乳
13	木	ごはん・味噌汁・炒り鶏・和え物・ヨーグルト
14	金	ごはん・スープ・白身魚のカレー焼き・炒め物・ゼリー
15	土	塩焼きそば・スープ・和え物・果物
16	日	
17	月	ごはん・味噌汁・鶏肉の竜田揚げ・煮物・果物
18	火	ごはん・味噌汁・鯖とごぼうの煮付・和え物・果物
19	水	三色丼・汁物・和え物・牛乳
20	木	ごはん・スープ・厚揚げの炒め物・酢の物・ヨーグルト
21	金	ごはん・スープ・エビカツ・サラダ・果物
22	土	
23	日	
24	月	ごはん・スープ・鮭のムニエル・サラダ・果物
25	火	ごはん・味噌汁・牛肉と野菜の炒り煮・酢の物・果物
26	水	ハムエッグバーガー・スープ・サラダ・牛乳
27	木	ごはん・味噌汁・鶏肉のわさび照焼き・和え物・ヨーグルト
28	金	ごはん・スープ・さわらの中華焼き・炒め物・ゼリー
29	土	
30	日	
31	月	ハロウィン献立

やむをえず献立を変更することがあります。あらかじめ御了承ください

訂正:9月1日号の入所部の記事に誤りがありました。歯間ブラシの実施日は、毎月第1金曜日ではなく、毎月第2、第4金曜日です。訂正しお詫び申し上げます